

養護研究会

1. 令和7年度以前の取組

学校衛生会、川崎市保健会養護部会、養護教員研究会の流れを受けて、昭和37年、養護研究会は発足した。平成24年度からは、養護教諭経験のある校長も研究会長を務めている。複雑化・多様化する健康課題の解決を目指して、7行政区で「地区研究」を進め、平成7年度からは毎年、一地区毎に紀要作成と研究報告を行った。5月の研究会総会後と7月の夏季休業中に「研修会」を開催し、令和3年度一年間の準備期間を経て、令和4年度からは、特別活動研究会との共催で、年1回、南部地区1校、北部地区1校で「授業研究会」を行ってきた。

2. 令和7年度からの取組 キーワード：原点・創造・未来

- (1) 学校保健研究と授業研究を柱に研究を進め、どこの学校でも誰もが使える成果物作成して、共通の財産とする。
- (2) 学校保健研究では、「チーム学校の一員として担任や教科担任と連携し、養護教諭の知識や技能などの専門性を保健教育に活用」して、「心身の健康に問題を持つ児童の指導とともに健康な児童についても健康の増進に関する指導」を目指す。
- (3) 毎月の地区研究会場校での保健室見学や情報共有、総会後の研修会や夏季研修会等での学びを活かしてブラッシュアップしながら、予防防止の視点で、川崎の子どもの健やかな未来を育む。

教育関係法令（学校保健安全法） 学習指導要領 かわさき教育プラン 市教職員育成指標等

川崎市小学校教育研究会
研究大会主題
ヘルスプロモーションの理念

学校教育目標 学校保健目標
学校保健計画 保健室経営計画
学年・学級目標等

研究主題 児童の豊かなからだを育む健康教育をめざして

授業研究

南部1校 北部1校
奇数年度は特別活動
研究会と共同

R7 川崎 麻生
R8 中原 多摩
R9 幸 宮前
R10 川崎 高津

学校保健研究

児童の豊かな
からだを育む
ために子どもを
主語とする研究

日々の実践に根
ざし、理論と実
践を往還させる

チーム学校の一
員として、養護
教諭の知識・技
能を生かす

川崎市立小学校
全体の共有財産
とする

保健室見学

地区研会場校での学び合い

キーワード：自助・共助・公助
初任者をはじめとした各ステージの
教職員のニーズにあった研究・研修
の充実（小教研活動方針より）に向
けて、日常を振り返り、独自性と客
観性を考える場とする

研究のまとめ（報告会）

研究紀要

養護研便り

学校保健成果物等